

## 特集号「曲げ加工の温故知新」の原稿募集

本誌「塑性と加工」平成30年3月号では、標記の特集号を企画しております。曲げ加工は、板材、型材、管材などの2次成形として、せん断加工と並び、非常によく用いられる塑性加工技術の一つであります。また、近年、高強度鋼板の適用拡大、アルミニウムやマグネシウムなど軽量化材料の普及が進む中、スプリングバックや反り、ねじれ、割れなどの不良現象への対策、または新素材への曲げ加工限界の向上、それに伴う新しい曲げ加工の開発は、塑性加工の技術課題の一つだと考えられます。

本特集号では、「曲げ加工の温故知新」について以下の内容を予定しています。

曲げの初等理論（塑性曲げのメカニズム） 型曲げ（V曲げ，U曲げ，U-O曲げ） ドロー曲げ ロール曲げ ダイレス曲げ 曲げフランジ成形 管の曲げ 曲げ不良（反り） 曲げ不良（ねじれ） 曲げ不良（割れ） スプリングバック スプリングバック抑制（コイニング，ボトミング） スプリングバック抑制（引張曲げ，圧縮曲げ）	鉄鋼材の曲げ アルミニウム材の曲げ ステンレス材の曲げ マグネシウム材の曲げ 高強度鋼板の曲げ 微細粒鋼の曲げ 箔の曲げ 複合材料の曲げ 曲げの成形（加工）限界と最小半径の向上 曲げ試験法と評価方法 曲げ加工機の変遷と最前線 曲げ加工のシミュレーション技術 新しい技術展開
--	--

曲げ加工技術に関して、先人達の知恵や技術を学び直すことで、会員の皆様の新しい知見や発見、技術進展のヒントになるべく、情報発信したいと考えております。様々な観点からの本テーマへの積極的なご投稿を心よりお待ちしております。

なお、勝手ながら原稿の採否は編集委員会・校閲運営委員会にご一任くださいますようお願い申し上げます。

原稿募集：論文，総説論文，速報論文，資料

申込締切：平成29年5月31日(水)

“曲げ加工の温故知新”と題し、原稿種別、題目、著者名、連絡先、および100字程度の概要をご記入の上、E-mail または FAX にてお申し込みください。

投稿締切：平成29年6月30日(金)

【申込先】日本塑性加工学会編集委員会（担当：倉田）

E-mail: kurata@jstp.or.jp

FAX: 03-5733-3730